

書式

平成・令和\_\_\_\_年( )第\_\_\_\_号 \_\_\_\_\_請求事件

原告 \_\_\_\_\_

被告 \_\_\_\_\_

(注) □欄は、該当事項にレ点を付すか、又は、■に反転させる。

答 弁 書

令和\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日

千葉地方裁判所□民事第\_\_部\_\_係

□\_\_\_\_支部 御中

1 被告の表示

住所又は所在地 〒\_\_\_\_-\_\_\_\_

氏名又は団体名 \_\_\_\_\_ 印

(団体の場合、代表者の肩書・氏名・代表者印)

\_\_\_\_\_ 印

電 話 番 号 \_\_\_\_\_-\_\_\_\_\_-\_\_\_\_\_

ファクシミリ番号 \_\_\_\_\_-\_\_\_\_\_-\_\_\_\_\_

2 送達場所

被告に対する書類の送達は、以下の場所にあてて行ってください。

□上記住所

□勤務先 名 称 \_\_\_\_\_

住 所 〒\_\_\_\_-\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

□その他の場所

住 所 〒\_\_\_\_-\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

書式

氏名 \_\_\_\_\_ (あなたとの関係) \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_

3 訴状記載の「請求の趣旨」に対する答弁

(1) 原告 の請求を棄却する。

(2) 訴訟費用は原告 の負担とする。

との判決を求めます。

(1) 原告 の請求のうち、第 \_\_\_\_\_ 項の請求は認める。

(2) 原告のその余の請求を棄却する。

(3) 訴訟費用は原告 の負担とする。

との判決を求めます。

原告 の請求を認める。

4 訴状記載の「請求の原因」に対する答弁

(1) 訴状に「請求の原因」として書かれていた事実について

事実は全て間違いありません。

第 \_\_\_\_\_ 項記載の事実は認める。

第 \_\_\_\_\_ 項記載の事実は否認する。

第 \_\_\_\_\_ 項記載の事実は知らない。

書式

(2) 私の言い分は次のとおりです。

5  話し合いによる解決（和解）を希望します。

(1) その場合、

分割支払を希望します。

(1) 1 か月 \_\_\_\_\_ 円ずつ

(2) 支払開始日 令和 \_\_\_\_ 年 \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日から

(3) 毎月 \_\_\_\_ 日に支払います。

令和 \_\_\_\_ 年 \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日に一括で支払うことを希望します。

(2) 話し合いによる解決（和解）を希望する理由は次のとおりです。